

阿賀野市農業技術情報

No.4 令和6年 12月号
阿賀野市農業振興協議会

令和6年産米の作柄と次年度対策

1 令和6年産米の作柄と品質の概況

阿賀野市の令和6年産の収量は、早生・中生・晩生品種とも平年よりやや少なく、作柄はやや不良と推定されます。

品質は昨年より向上しました。しかし、本年は部分カメによる格落ちが多く、全品種検査数量に対する格落ち率は9.4%で、格落ちの多かった令和2年よりも高くなっているとともに、本年は極早生、早生品種だけでなく、中生品種でも格落ちが多くなっています。

作柄については、5月の強風や低温での初期生育の遅れと7月の日照不足が大きく影響し、収数不足等でやや不良となりました。

表1 作柄概況と1等級比率(10月末現在)

品質	作況指数	区分	コシヒカリ		こしいぶき		全品種	
			1等級比率(%)	格落ち理由	1等級比率(%)	格落ち理由	1等級比率(%)	格落ち理由
下越	97 (やや不良)	あがのアグリセンター管内	89.5	1 部分カメ 2 除青未熟 3 心白粒	81.0	1 部分カメ 2 除青未熟 3 心白粒	81.4	1 部分カメ 2 除青未熟 3 心白粒
新潟県	98 (やや不良)	ささかみアグリセンター管内	70.8	1 除青未熟 2 部分カメ 3 基部未熟	68.6	1 部分カメ 2 除青未熟 3 青白	67.8	1 除青未熟 2 部分カメ 3 基部未熟
全国	101 (平年並)	新潟県地域振興局管内	67.2	1 除青未熟 2 部分カメ 3 腹割粒	84.8	1 部分カメ 2 除青未熟 3 青未熟粒	71.9	1 除青未熟 2 部分カメ 3 腹割粒

※飼料用米を除く
※K分を除く

2 収量構成要素から見た作柄や品質に影響した主な事項

穂数
早生: やや少
中生: やや少
晩生: やや少

一穂粒数
早生: 少～やや少
中生: 少～やや少
晩生: 並

㎡粒数
早生: 少～やや少
中生: 少～やや少
晩生: やや少

作況指数 97
(下越)
玄米重
515kg/10a
(1.85篩目収量)

※作況指数:北陸農政局
令和6年11月19日公
表 10/25 現在

登熟
早生: 並～やや良
中生: 並
晩生: 並

千粒重
早生: 並～やや大
中生: 並
晩生: 並

収量
早生 525kg/10a
中生 500kg/10a
晩生 525kg/10a

※新潟県農業普及指導
センター調べ

品質
早生: 並
中生: やや不良
晩生: 並

- 苗災: やや不良～並
・育苗障害(ムレ苗、ヤケ苗): 少
・育苗期の病害(ばか苗、楊葉病)の発生: やや多
・播種後の高温多照で生育が進み、一部で老化傾向

- ワキ、アオミドロの発生: やや多

- 初期生育: やや不良～並(地域差あり)
・5月16日、17日の強風の影響を受けたほ場で植え傷みが発生し、初期生育が不良
・特に深植え、深水管理のほ場で、初期生育遅れる

- 最高分けつ期の茎数: 少～やや少
・6月2半旬以降の高温で分けつ急増も下位分けつ確保できず
・稲の生育の進みに併せて概ね適期での中干しの実施。初期生育の遅れたほ場は遅めとなり、6月下旬からの降雨で中干し効果が不十分

- 7月第1、2半旬の夜温が高く、日格差が小さい
→ 葉色濃・長草化・茎質不良
→ 幼穂形成期の葉色濃い

- 6月第6半旬の低温、7月第1～2半旬の少照で分けつ期の切れ上がり不良 → 出穂期、登熟のバラつき

- 出穂以降の高温により、登熟期間の短縮

- 7月の少照により、中生を中心に茎の蓄積デンプン低下

- 8月14,25日、9月12,15,19～22の強雨と8月第5、6半旬の連続降雨、9月以降の断続的な降雨により倒伏拡大

- 8月第5、6半旬の連続降雨、倒伏により収穫作業遅延

- 斑点米カメムシ類は、コシヒカリに合わせた共同防除が主。早生、中生品種で斑点米被害多い(7月10日、新潟県害虫発生予察情報・注意報第2号「カメムシ類による斑点米の多発生に注意」発表)

問題となった事項

- ・土づくり資材の施用率が低い
- ・老化苗、密播苗による初期生育不良
- ・除草剤の田植え同時散布で薬害発生事例多(ほ場の均平、処理後の水管理、ワキ・アオミドロ対策)

- ・初期分けつの遅れ
- ・有効茎割合の低下

- ・生育に合わせた穂肥・追肥対応(後期栄養不足ほ場あり)

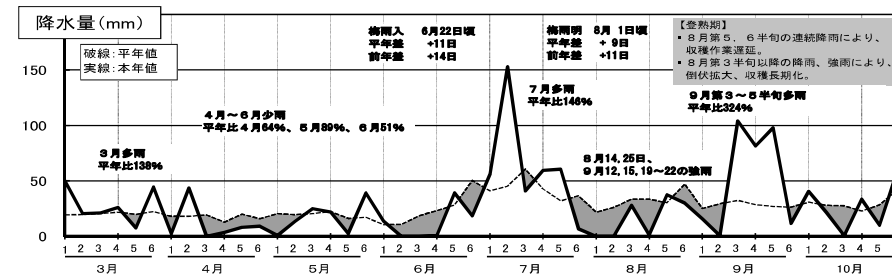
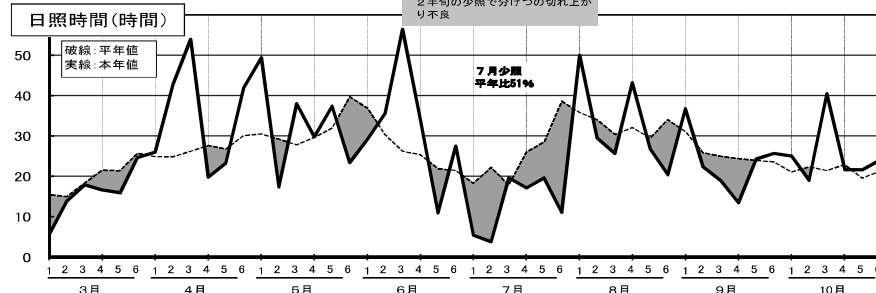
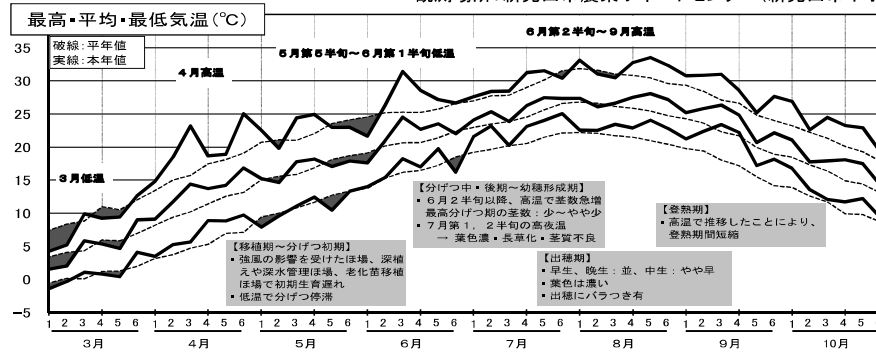
- ・登熟期間中の飽水管理の不徹底
- ・大規模経営体を中心に刈遅れ傾向

- ・斑点米カメムシ類防除時期のズレ(極早生・早生、コシヒカリ)

- ・水田内雑草の発生(ヒエ、ホタルイ)

3 令和6年度稲作期間の気象図

観測場所: 新発田市農業サポートセンター(新発田市下羽津)



4 次年度に向けた課題と対策「気象変動に負けない稲づくり」

1 初期生育を促進し良質茎を安定確保

- ・健苗の育成と適期移植
- ・田植え後の水管理徹底(初期生育確保、除草剤の薬害防止、ワキ・アオミドロ対策の実施等)

2 自然災害に備えた適正な施肥(栄養補給)と土づくり

- ・気象変動に負けない土づくり(ケイ酸資材や堆肥等の施用)
- ・種の生育や気象条件に対応した、3回目の種肥(分施肥)や追肥(全量基肥)の検討(後期栄養の確保)

3 カメムシ防除等の徹底

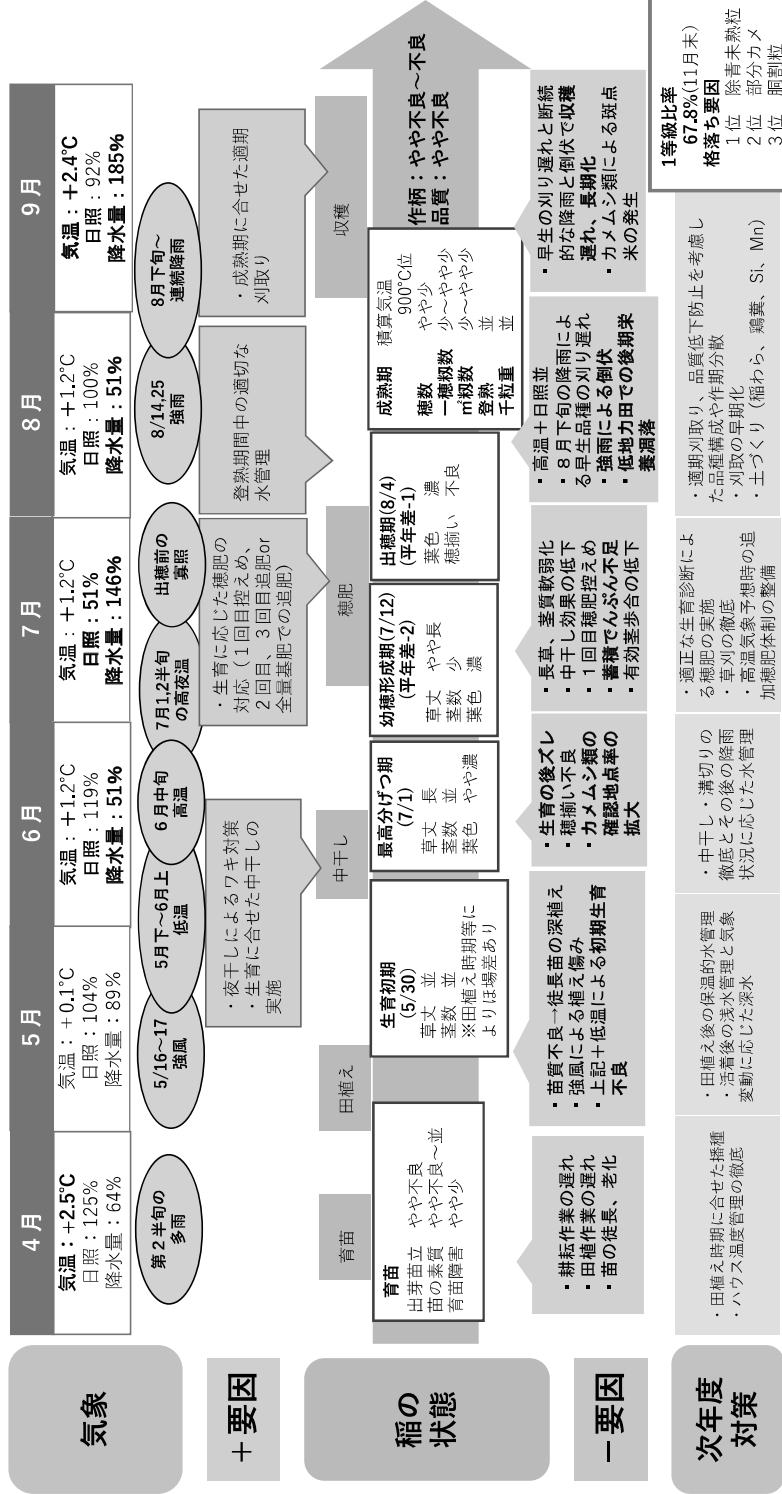
- ・多発生時や共同防除地域等における追加防除の実施
- ・ほ場内及びほ場周辺のイネ科雑草、ホタルイの除草徹底

4 リスク管理を考慮した作付計画作成

- ・移植時期拡大、品種構成見直しによる作期分散

コシヒカリ作柄・品質要因(11月末現在)

※数値は新発田農業普及指導センター調べ
気象は川東サポートセンター観測値の平年比



今日の安心、明日への備え
のうきん
農機具損害共済

農業用ドローン（所有者様向け） 農機具共済のご案内

補償対象となる共済事故

接 触

転 覆

墜 落

火 災

そのほか、落雷、物体の落下・飛来、破裂・爆発、盗難による盗取若しくは損、鳥獣害(ネズミなどの糞尿による汚損・さび等は除く)、第三者行為による不可抗力のき損、衝突、異物の巻き込みの事故や、風水害や雪害など自然災害(地震・噴火・津波を除く)が補償の対象となります。

ご注意ください！ 対人・対物補償など、損害賠償に関する補償はありません。

掛 金 例

共済金額100万円の
農業用ドローンなら…

年間の掛金は

32,200円

ご加入いただける機体の要件

- ・回転翼がマルチコプター型のドローンであること。
- ・農業目的に使用するものであること。
(農業目的: 農薬散布、肥料散布、播種、受粉、ほ場センシング)
- ・航空法に基づく国土交通省の飛行承認を受けた機種。
- ・加入者が所有または管理する、未使用の状態で取得した機体。

中古で取得した機体や、無人ヘリコプター、固定翼型のドローンはご加入いただけません。

安心のネットワーク
NOSAI新潟
新潟県農業共済組合 下越支所

< お問合せ先 >
〒959-2415
新発田市住田544番地
TEL(0254)33-3906 任意共済係